

落とし物のお知らせ

落とし物が2点ありました。



見つかった場所：きらぼし公園周辺

物：室外機カバー



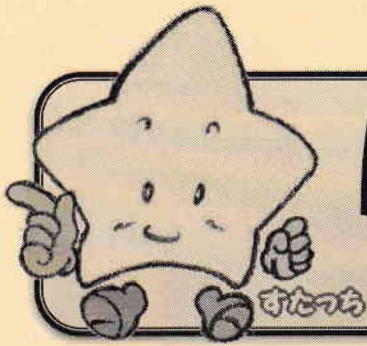
見つかった場所：1丁目3番地付近

物：ビニールシート

お心当たりのある方は、お近くの役員か町内会役員あてにメールにてご連絡ください。

アドレス：hoshigaoka.teine@gmail.com





ほしおきだより

情報コーナー

第 87 号
2024.12.1発行

〒006-0852 札幌市手稲区星置 2 条 3 丁目 14-1 (星置地区センター内)
星置まちづくりセンター
TEL 695-3222 FAX 695-3223

SAPP
RO

第14回ほしおき写真コンテスト 最優秀賞・優秀賞作品

般 部 門



最優秀賞
「夏の終わり」中濱 功太



優秀賞
「黄金線」能登 喬也

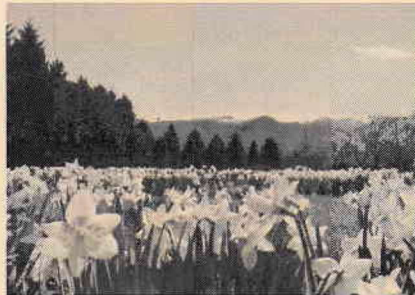


優秀賞
「濃緑(こみどり)」佐藤 友樹

18 歳 以 下 部 門



最優秀賞
「紅葉と灯籠」横山 稟果



優秀賞
「花と空と山」淀野 柚希



優秀賞
「ずっ友」長谷川 風花

ス マ ー ト フ ォ ン 部 門



最優秀賞
「星置川にかかる虹の橋」
早瀬 幸俊



優秀賞
「朝の光に照らされて」
佐藤 美香



優秀賞
「子供たちの想いを灯して」
佐藤 ひとみ



©TEINE WARD SAPPORO

夢のまちづくり星置・山口の会主催の「第14回ほしおき写真コンテスト」は、一般部門、18歳以下部門、スマートフォン部門の3部門に計65点の応募があり、審査の結果、下記の作品が受賞されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

なお、応募作品を用いて毎年恒例の「星置カレンダー」を作成中です。12月中旬頃から星置まちづくりセンターで無料配布(お一人様一冊まで)しますので、お楽しみに。

【一般部門】

最優秀賞	夏の終わり	中濱 功太
優秀賞	黄金線	能登 喬也
優秀賞	濃緑(こみどり)	佐藤 友樹
技術賞	冬のドレス	水野 博光
入選	お兄ちゃんと競争	松崎 真也
入選	朝日をあびて	山口 靖弘
入選	スマイル&スマイル de 山口スイカ	澤田 硬平
入選	初秋の夕焼け	山本 誠
入選	緑のイチョウ並木	柳川 美里
特別賞	オレンジロード	佐藤 雅世
奨励賞	桜と僕	吉田 陽子

【スマートフォン部門】

最優秀賞	星置川にかかる虹の橋	早瀬 幸俊
優秀賞	朝の光に照らされて	佐藤 美香
優秀賞	子供たちの想いを灯して	佐藤 ひとみ
技術賞	星置キノコ図鑑ドクベニタケ	須田 かむい
入選	散歩	船山 春奈
入選	白い平原	石岡 貞視
入選	ホニョがいそう	平田 聖
入選	星置の滝と星置川の清流	荻野 晴仁
入選	咲いた咲いた	宮田 杏奈
特別賞	まち灯りの晩のやま(山)灯り	伊原 誠一
特別賞	愛犬と秋の夕暮れ	高谷 美幸
奨励賞	命をつなぐ受粉	佐藤 舜

～敬称は省略させていただきます～

【18歳以下部門】

最優秀賞	紅葉と灯籠	横山 稟果
優秀賞	花と空と山	淀野 柚希
優秀賞	ずっと友	長谷川 風花
入選	秋のさんぽ	水尾 小春
入選	月下の氷灯	市川 詩乃
入選	青空と電車	熊谷 大翔
入選	緑のイチョウ並木	定塚 まひろ
奨励賞	山口運河の「みどり」	野呂 洸太郎

ほしおき写真コンテスト写真展

※すでに終了したものも記載しています。

1. 星置まちづくりセンター(星置地区センター)

11月11日(月)～11月24日(日)

※ 9時～21時まで

2. 夢トピアコスモプラザ

11月26日(火)～12月5日(木)

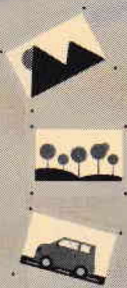
※ 9時～17時まで

3. JR 手稲駅自由通路「あいくる」

南側ショーウィンドー

12月7日(土)～12月16日(月)

※ 最終日15時まで



星置まちづくりセンターのホームページでは、全ての入選作品を掲載しています。
右の二次元バーコードか下のアドレスからアクセスしてご覧ください。

https://www.city.sapporo.jp/teine/machi_center/hoshioki/kiji/20241107.html





雪の季節がやってきました ～今シーズンの除雪とパートナーシップ排雪～

札幌は10月20日平年より8日早い初雪で雪の季節がスタートしました。

今年度の除雪に向けて11月14日、手稲区民ホールで手稲区の「南地区除雪連絡協議会」が開催され、手稲区土木センターから除排雪の説明がありました。



※除雪センター

手稲区の除雪体制は南北2地区に分かれ、星置は「南地区」。除雪部隊の基地「南地区除雪センター」は曙5条5丁目の曙西緑地にあります。

※道路の除雪

(1) 新雪除雪

原則として10cmを超える降雪があったとき出動します。道路の雪を除雪車が左右にかき分ける「かき分け除雪」を行います。

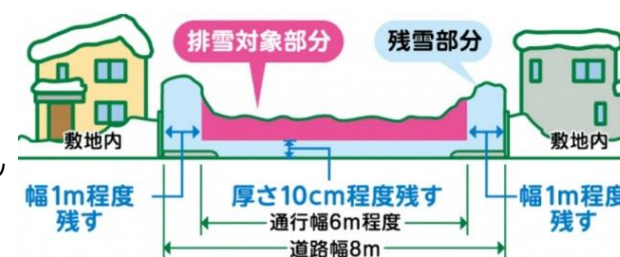
当日の出動予定は、デジタル放送（NHK、HTB ほか）、市のホームページ、LINE の札幌市からのお知らせ情報で知ることができます。

(2) 路面整正

路面の雪の凸凹を除雪車で削って平らにします。

※パートナーシップ排雪（2月中旬～下旬）

- ・地域の道路の安全通行を確保するため、町内会と市が費用を負担して生活道路の排雪を行うものです。（運搬の道路幅を確保するため、生活道路と合せて区域内の幹線道路も排雪されます）
- ・8m 幅の道路では、図の通り 6m幅で排雪。両脇1mずつと路面に10cm程度は雪が残ります。
- ・業者（共同企業体 JV）と市が契約し、申込んだ町内会の道路を排雪します。



市では年々排雪コストが上昇するなか、市の負担割合を増やして地域負担額を据え置いてきましたが、排雪方法見直しの実証実験も行いながら、パートナーシップ排雪制度の見直しを検討していくとしています。

作物とヒトの健康に良い成分を提供 ～アミノアップ見学記～

手稲区連合町内会連絡協議会（区連協）の令和6年度会長等見学研修会は機能性食品などの原料素材を開発・製造している(株)アミノアップの見学。

手稲区役所からバスで50分、「ハイテクビル真栄」の緑の中にあるアミノアップの施設は、ハイテクビルの名にふさわしいしゃれたデザインのビル。

工場見学と聞いてイメージしていたのとは大違い。会議室で会社と事業内容の説明のあと、施設内を見学しました。

まず、会社の歴史と、ESG（E 環境、S 社会 G：ガバナンス）への取り組みを示すパネル展示を見学。

同社は、1977年に北海道飼料研究所として設立。

農場の一角で堆肥を作る研究をおこなっているとき周辺の植物が異常増殖しているのに気づき、調べていく中で植物の生育を調整する物質「サイトカイニン」を発見。

これを大量培養する技術確立して植物活力資材「アミノアップ」を製品化、これが現在の社名となりました。

以来40数年、機能性食品素材や農業資材を開発・製造し世界の食品メーカーなどに販売しています。

施設内は清潔で製造設備はきれいに整理されているほか、製品ごとに棟を分け微細な原料の混入防止も徹底しています。

同社の製品は直接消費者に販売するものではなく、機能性食品や農業資材の原料として、世界の食品メーカー等に出荷されています。このため、社名に馴染みは薄いですが、同社が開発した「オリゴノール」（ポリフェノールを低分子化して吸収率を高めた）を使った飲料がコンビニにも並んでいます。

こうして健康食品や農業生産に寄与する夢の原料が札幌で開発・製造され、世界に出荷されているなんて、何とも誇らしくうれしい気持ちになります。

ハイテクビル真栄についても、こうしたところだったんだということを改めて知りました。



(株)アミノアップのエントランス



会議室での概要説明



研究部門の試験室



近代的な製造プラント



見学通路のガラス越しに見る工場内



同社の製品を原料とした機能性食品等



特集・・・星置の今と昔（最終回） （ほしが丘町内会編）

皆さんが暮らしている星置の地域、お宅はその昔、どんな土地だったのか、国土地理院の衛星写真を使ってご紹介してきましたが、最終回となる今月号は、ほしが丘町内会周辺を見ていきましょう。

ほしが丘は、2015（平成27年）年12月に、手稲山口から新規町名整備に伴い「星置3条1丁目」として手稲区星置となり、夢トピア星置町内会連合会にほしが丘町内会として加入されています。

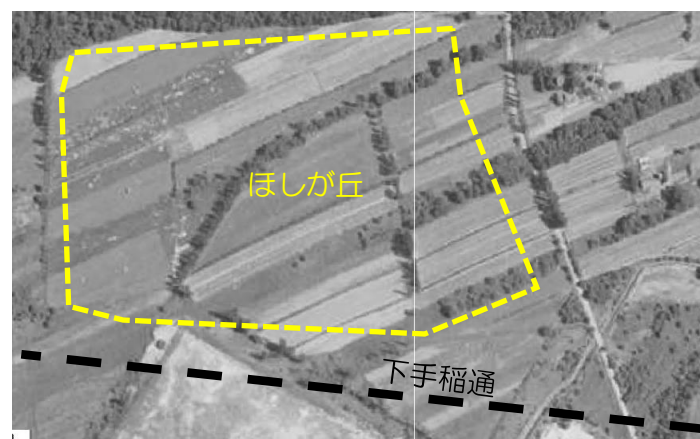
この辺り一帯は2008年代に入っても、畑や原野が広がっており、その後数年で宅地造成、宅地内道路、排水整備が急速に進み、2020年の写真では現在の街並みが完成しております。

2014年9月にスーパーセンタートライアル、マクドナルド、2023年2月には、業務スーパーがオープンした他、ガソリンスタンド、イエローハット、ローソンが下手稲通りに隣接され、また、きらぼし公園、あまのがわ公園も整備され、子育て世代にも生活の利便性の高い居住区となっています。

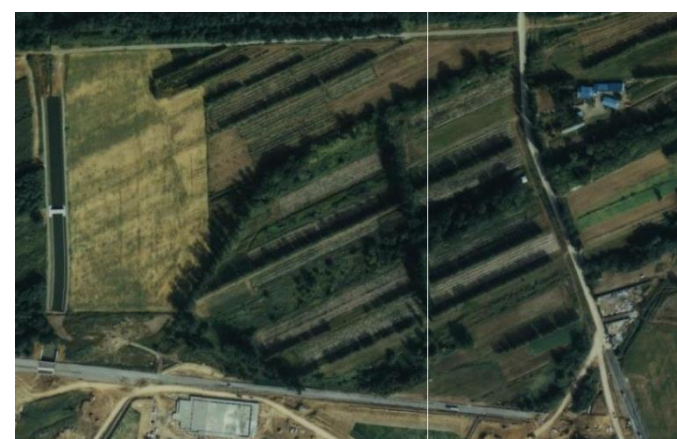
また、ほしが丘町内会の西側、北側には濁川、山口排水川がありますが、北側の両角には、夢トピア星置町内会連合会エリアでは唯一となる2箇所の雨水貯留池（下写真の2020年参照）が整備されています。

来月号では、浸水被害を防ぐために設置されている雨水貯留池についてご紹介します。

1960年代



1980年代



2008年代



2020年

雨水貯留池



手稲の祭りはいま ～各連合町内会の状況～

新型コロナ感染拡大により令和2年から4年度までは各種イベントは中止されてきましたが、感染症法の5類に分類されるようになった昨年から徐々に再開してきています。

手稲区内の各連合町内会のお祭りの状況はどうなっているのでしょうか。各連町の現在の状況を調査しました。

手稲区内の連合町内会（15連町）の状況をみると、連町主催でコロナ前から夏祭りを開催していたのは11連町、このうちコロナの5類移行後に再開しているのは9連町で、中止のままとなっているのは2連町でした。

再開している連町で、コロナ前に比べて新たに実施していることで最も多いのはキッチンカーの導入。

開催している9連町のうち5連町で導入していました。これにより町内会露店開設の負担が軽減される、食品衛生の向上が図れるなどが期待されています。

また、4連町で時間の短縮やプログラムの見直しなど祭りの簡素化を行っています。更に積極的な簡素化ではないものの町内会の露店の品目が簡単なものになっているところもあります。

このほか、2連町で設営や運営などで外部委託を拡大し、担い手不足をカバーしています。

これら取り組みの多い上位3項目は夢トピアでも導入しているものです。

コロナが一段落しても、役員の高齢化や担い手不足などにより祭りの開催が難しい状況は進んでおり、再開しているところも様々な工夫をしていることが分かります。今後も継続のための取り組みが進められていくものと思われます。

再開していない連町でも再開に向けた模索が行われています。他連町の状況などが参考になって、手稲区の夏の賑わいが更に広がることを期待したいですね。



祭りの人気者キッチンカー

星のまたたきは夢トピアのホームページでも閲覧できます。
(<https://yume49863.wixsite.com/my-site>) または右のQRコード

